

令和4年度 小学生議会

8月24日、市議会議場で「令和4年度小学生議会」を開催しました。市内各小学校・義務教育学校から2人ずつ、計16人が参加し、市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が投げかけられ、市長、教育長および各部長等が答弁しました。牛久市の将来を担う小学生議員の皆さんの質問、それに対する答弁の概要を紹介します。

ふるさと納税について



さとう かなこ 佐藤 佳菜子 さん (岡田小学校6年)

市にふるさと納税をする場合の金額はいくらになり、それはどのように算出されていますか。また、ふるさと納税で収めた税金はどのように活用しているのか、今後どのように活用していくのか教えてください。

答弁▶市ではもらえる特産品ごとに5千円から150万円まで寄附額を設定し、この寄附額の算出方法は国で特産品の金額を寄附額の30%以下としています。寄附金は生活の安全対策として、防犯カメラの設置や駅周辺のバリアフリー工事、教育や文化に関するものとして学校のタブレットの購入などに活用してきました。今後も全国の皆さんからたくさん応援をもらえるよう努力し、生活に役立つ事業に活用していきます。

住みやすい社会とは何かについて



いけだ たける 池田 剛琉 さん (中根小学校5年)

総合的な学習の時間で福祉について勉強し、バリアフリーがとても大切だと気づきました。市では過去にSDGs先進度調査で駅のバリアフリーが高く評価されたそうですが、どのような点を工夫しているのですか。

答弁▶牛久駅西口では車いす利用者等が安全に渡ることができる段差のない横断歩道やエレベーター近くに身障者専用の乗降場を設置しました。現在、ペDESTリアンデッキに屋根を付ける工事を進めています。また、今後は、車いすの方でも利用できる公衆トイレを設置する計画です。市は高齢化が進む現在の状況を考え、SDGsの一つでもある、住み続けられるまちづくりを意識し、今後もまちづくりを進めていきます。

牛久シャトーの存続について



いだ みのり 飯田 みのり さん (牛久第二小学校6年)

牛久シャトーが日本遺産に登録されたときはうれしい気持ちになりました。大切な文化財である牛久シャトーをこれからも守るための取り組み、また他の文化財もどのように守られ、市民に発信されていますか。

答弁▶日本遺産認定後は「日本遺産ビジターセンター」を開設し、AR技術を導入して牛久シャトーの歴史を見られる設備やジオラマを設置し、観光客の満足度向上に努めています。さらに次世代を担う市内の子どもたちに対して日本遺産や牛久シャトーの歴史を学ぶ取り組みも進めています。牛久シャトー以外の文化財は官民協働による保存管理を行い、無形文化財は新しく開設したホームページで動画を使って紹介しています。

悩んでいる子を助ける仕組みについて



まちだ みく 町田 美空 さん (牛久小学校6年)

日本には「チャイルドホットライン」のように子どもたちが相談できる場所がいくつかあります。市では悩んでいる子どもを助ける仕組みとしてどのような取り組みがあるか教えてください。

答弁▶「きぼうの広場」や「家庭児童相談室」で大人だけでなく子どもも心配ごとや困っていることを相談することができます。小学生になる前の子どもは保育園や幼稚園の先生が話を聞いてくれます。さらに中学生は匿名相談アプリ「STANDBY」を利用することができます。まずは一人で悩まず、自分にできる方法で相談してください。市は悩みを相談しやすい環境づくり、支え合える人間関係づくりを通してみんなの幸せづくりを支えていきます。

運転免許証返納後の高齢者への支援について



こやま あゆ
小山 愛結 さん (神谷小学校6年)

私の祖父は運転免許証を返納予定です。まだまだ元気ですが、高齢者の事故も多く心配なので更新せず、返納します。このような高齢者に対して、市にはどのようなサービスがありますか。

答弁▶市には「コミュニティバスかっぱ号」、「乗合タクシーうしタク」があります。かっぱ号は外出支援のため運賃を1回100円に抑え、免許証を返納した高齢者の方にも利用しやすいバスです。うしタクは市民であれば誰でも利用することができ、高齢者割引を設けています。また介護保険のサービスにも一人で外出が難しい場合の移動支援、移動付き添い支援などがあります。今後もすべての方が利用しやすい公共交通の整備を進めていきます。

再生可能エネルギーについて



よしだ あやみ
吉田 文美 さん (おくの義務教育学校6年)

環境破壊問題の解決には再生可能エネルギーを活用することがあり、地球温暖化問題にも有効です。市では再生可能エネルギーの活用についてどのような考えを持っていますか。取り組みなどを教えてください。

答弁▶排出される二酸化炭素を2050年に実質的にゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を市は行いました。また、動物や植物から作られるバイオマスに力を入れ、地域の資源を活用した再生可能エネルギーを地域で使う「エネルギーの地産地消」を進めるため木質ペレットやBDFを作っており、バイオマス産業都市に選ばれています。公共施設には順次太陽光発電を設置しています。これからも市は課題解決をしながら省エネルギーを進めていきます。

幼い子とお年寄りの関われる機会や場所について



たなか ともや
田中 智也 さん (向台小学校6年)

新型コロナウイルス感染症が流行する前は幼い子とお年寄り関わる場所があったが、今は減ってしまったと聞きました。市では「幼い子とお年寄りの関われる機会や場所」についてどのように考え、対応しているか教えてください。

答弁▶市は行政区活動の中で幼い子とお年寄り関わる機会をより多く提供できるよう必要な経費の一部を補助し、活動がスムーズに行えるようサポートしています。また、子どもたちと地域の高齢者が楽しく触れ合う場、子育て中の親子を対象とした「子育てサロン」は、子育てを終えたお母さん世代が運営しているため、子育てを通して親子と地域をつないでいます。市はこれからも地域での交流活動を応援していきます。

牛久市の税金の使われ方について



いしばし しょうき
石橋 将煌 さん (向台小学校6年)

国に集めた税金は社会保障や国の借金返済に使われ、国の収入の約3分の1を借金で補っていることを学びました。そこで市では国の借金をなくす取り組みや借金があるのか、税金はどのくらい集め、どのように使われているのか教えてください。

答弁▶市は道路の整備や公共施設の改修などをするため国や銀行からお金を借りていますが、返すお金が多くなり過ぎて市の仕事に影響がでないように計画的な財政運営に努めています。市の税金で最も多く使われるのは福祉分野で約107億円です。また道路補修や公園整備などのまちづくりに約23億円、教育分野に約42億円など市民の皆さんが納めた大切な税金が使われています。これからも市は大切な税金を魅力的なまちづくりに生かしていきます。

牛久市の武道館について



おかしま あずさ
岡島 梓 さん (岡田小学校6年)

茨城国体で新しく武道館が建てられました。私たちのようなこれから社会を支えていく若者や地域の人に対して、武道館でどのようなイベントをしようと考えているのか、どのようなことが大切なのか教えてください。

答弁▶武道館は通常各種団体の練習や大会などに利用され、予防接種会場にも使用されました。また武道館は福祉避難所にも指定されています。このように多種多様な使われ方をしていますが、なかなか知ってもらえない現状もあります。今後は若者から高齢者まで幅広く武道館を知っていただくためにも、もっと有効活用し若者向けの運動プログラムに力を入れ、地域の皆さんの健康維持増進に少しでも貢献できるよう取り組んでいきます。

感染症対策について



あくつ さあや
阿久津 沙文 さん (ひたち野うしく小学校6年)

学校でも新型コロナウイルス感染症拡大のため行事が少なくなり、友だちと楽しく給食を食べることができなくなり、たくさんの影響が出ています。そこで市ではどのような感染対策を行っているのか教えてください。

答弁▶市では感染の現状や感染予防について広報紙やホームページなどで発信しています。過去には感染症ガイドブックを作成し、全世帯に配布しました。また予防接種では速やかに接種ができるよう受診券を発送、病院の案内などを行いました。そして市の保健師は、感染し不安に思っている方、予防接種を迷っている方等の相談に応じています。これからも皆さんの学校生活が有意義なものとなるよう学校や関係機関と協力し、感染対策を講じていきます。

牛久市のSDG s の取り組みについて



こみね なな
小峰 奈々 さん (神谷小学校6年)

SDGsの「すべての人に健康と福祉を」を実現するため、市ではどのような取り組みを行っているのか気になりました。私もその取り組みに協力し、人々の健康と福祉を守る役に立てれば良いなと思っています。

答弁▶ このSDGsの目標に沿った事業として妊産婦・乳幼児健診やがん検診などの検診事業やワクチン接種事業を実施。さらに介護サービス、障がい者の生活支援や生活保護など、福祉事業は多岐に渡ります。また、令和3年3月に「牛久市第4次総合計画第1期基本計画」を策定し、まちづくりの目標がSDGsの理念に沿って示されています。皆さんにも自身の健康維持のため日ごろからできるSDGsの実践を心がけていただきますようお願いします。

人口減少の問題について

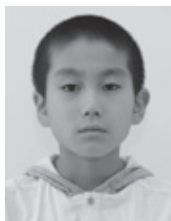


なかざわ ななみ
中澤 菜々美 さん (おくの義務教育学校6年)

日本の小・中学生は10年間で100万人も減ったそうです。市でも人口減少があると思います。市は人口を増やしたり、呼び込んだりする取り組みはありますか。また私たちでできることはありますか。

答弁▶ 市は将来に渡り安定して運営できるよう人口を維持することを目標としています。そのために住みよさを向上させ、子どもを産み育てやすい環境を向上させることが必要と考えています。子どもの医療費の一部を市が負担したり、移り住んだ人に支援金を支給したりしています。皆さんにしてもらいたいことは牛久のことを知ってもっと好きになって良いところを伝えてください。皆さんが行うことで来てくれる人や住む人が増えていくと思っています。

GIGAスクール構想について



よこすか たいせい
横須賀 大成 さん (牛久第二小学校6年)

他県の小学校では私たちとは違うソフトを使っていた。なぜ地域によって違うのか、教育の差はないのか疑問に思いました。タブレットPCを活用してどのような力を私たちは身に付けていくのか、また故障のときの対応を教えてください。

答弁▶ 文部科学省の「学習指導要領」をもとにした授業なのでどの地域でも同じレベルの教育を受けられます。ソフトが異なっても育てたい力は同じなので安心してください。タブレットは「情報活用能力」の育成のための道具です。PCを上手に活用し、情報を得て整理、比較、また情報を発信し、共有できる力を身に付けていきます。タブレットの修理はまとめて行っています。少しでも故障が減るように、大切に使用していただけるようご協力をお願いします。

公園の整備について



さくらい ゆづき
櫻井 悠月 さん (牛久小学校6年)

市にはたくさんの公園があります。子どもだけが楽しめる公園ではなく、小さい子や高齢者も利用しやすくするためにどのような計画で整備していますか。また利用者の意見を取り入れる仕組みはありますか。

答弁▶ 遊具は毎年点検を行い、安全を第一に考え、交換や撤去をしています。現在も古くなった遊具を直したり、新しいものに交換したりすることを順次行っています。また、これまでも地域の皆さんからの意見や要望を取り入れながら整備をしてきました。利用者の意見が一番貴重だと考えていますので、ご意見をお待ちしています。これからも誰もが利用しやすい公園となるよう整備を進めていきます。

牛久の魅力について



あかつか
赤塚 みのりさん (ひたち野うしく小学校6年)

県の魅力度ランキングがほとんど最下位です。市には文化的な有名な場所がたくさんあります。新鮮な野菜が多く、緑豊かな公園もあり、住みやすいです。市ではどのように魅力をPRしたり伝える活動を行っていますか。

答弁▶ 市では広報紙やホームページ、かっぱメール、SNS、YouTubeなどで情報発信しています。その他にも新聞やテレビなどに情報を取り上げてもらうことも重要な取り組みです。情報をさまざまな方法で発信するほか、直接PRするため、イベントに参加し市の魅力を伝えています。市の魅力発信は市職員の力だけでは足りません。市民の皆さんに魅力の発信者「シティプロモーター」になっていただき、一丸となり魅力を発信していきたいと考えています。

児童・生徒数の変化に伴う政策について



ほり よう
堀 陽 さん (中根小学校5年)

市内の児童・生徒数が減っていることが分かりました。児童・生徒数をこれ以上減らさないためにどのような施策を行う予定ですか。また住んでいる皆さんにできることがあれば教えてください。

答弁▶ 児童・生徒数を減らさないということは、市の人口を減らさないようにしなければなりません。そこで市教育委員会では魅力ある学校や教育内容の充実を図り、牛久の学校に通わせたい、牛久に住みたいと思ってもらえるような学校づくりが必要と考え、学び合いの授業や地域全体で学校を支えるコミュニティ・スクール制度等を導入しています。堀議員も友だちや地域とともに学び続けることで牛久の魅力をさらに知り、将来は地域づくりの中心になってください。